

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	飯田市	ふりがな箇所名	(一)市場桜町線		ごこうじ座光寺	事業年度(完了年度は見込み)	H25	年度～	H29	年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)				
	全体	道路拡幅工 L=330m W=5.5(7.0)m			300,000		国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度	測量設計 1式			3,000				2,700	300	
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価				ランク	評点	
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/>	4,000台/日以上	<input type="checkbox"/>	1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/>	1,500台未満		B	0
		代替道路	<input type="checkbox"/>	唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/>	代替となる道路がある			0		
		ネットワーク(道路網)	<input checked="" type="checkbox"/>	バス路線である	<input type="checkbox"/>	B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/>	A及びBに該当しない	5		
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/>	ボトルネック箇所でない			4		
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input checked="" type="checkbox"/>	観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/>	観光地に通じる道路ではない			2		
			<input checked="" type="checkbox"/>	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/>	4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/>	5.5m以上(幅員)	6		
		<input type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/>	歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		0		
		他事業との関連	<input type="checkbox"/>	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施					0		
	小計								17		
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮をしていない	A	5	
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/>	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、着目調整実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/>	特別な位置づけはない		3	
		小計								8	
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満	A	5	
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input type="checkbox"/>	事業年数 3年以内	<input checked="" type="checkbox"/>	事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 6年以上		5	
		コスト縮減	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	コスト縮減はしていない		7	
		小計								17	
	緊急性 (20)	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険がない	B	10	
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input checked="" type="checkbox"/>	医療・福祉の連携に関係ない道路		0	
		小計								10	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/>	市町村からの要望	<input type="checkbox"/>	特に要望がない	A	7		
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/>	関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/>	関係者中心に周知	<input type="checkbox"/>	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/>	住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/>	住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/>	特に住民意見は反映していない		4		
	小計								16		
費用対効果(B/C)		2.1		評価の合計				B	68		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は飯田市座光寺から中心市街地へ至る生活道路であり、沿線の学校等の通学路としても利用されている。また元善光寺付近の観光施設に関連した交通需要もある。しかし座光寺付近では特に狭隘で普通車のすれ違いも困難な箇所があり、交通の障害となっている。									
	地域からの要望経緯	以前より市役所を通して地元から毎年要望があったが、地域自治組織がH20年2月に策定した土地利用計画に道路整備構想が記載され、この方針に沿って強い要望があった。									
	事業説明等の経緯	平成23年に地元説明会を実施した。									
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。必要箇所整備を待避所整備で検討する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
	特記事項	市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。									
地域の合意形成		<input type="checkbox"/>	全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/>	概ね賛成	<input type="checkbox"/>	過半数賛成	<input type="checkbox"/>	動向不明		
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地である元善光寺へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、H25年度から事業化をしたい。				行政改革課意見	重要性が認められる。					